



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年8月10日

上場会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3682 URL <https://www.et-x.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井 進也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 飯塚 伸

TEL 03-5623-2622

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	549	6.9	15	53.9	15	53.3	9	55.6
2023年3月期第1四半期	514	18.6	33	30.2	32	31.4	21	34.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	1.45	
2023年3月期第1四半期	3.26	

(注1)「1株当たり四半期純利益」は信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めて算出しております。

(注2)「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,471	3,225	72.1
2023年3月期	4,208	3,341	79.4

(参考)自己資本 2024年3月期第1四半期 3,225百万円 2023年3月期 3,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		20.00	20.00
2024年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,450	15.6	250	2.9	250	2.5	175	0.6	26.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	6,924,200 株	2023年3月期	6,924,200 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	263,832 株	2023年3月期	263,832 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	6,660,368 株	2023年3月期1Q	6,660,368 株

(注)「期末自己株式数」には、信託口が保有する当社株式が含まれております。また、「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式数には信託口が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へ移行され、社会経済活動の正常化が進んだことで緩やかに回復しております。ソフトウェア投資を含む企業の設備投資も、高水準の企業収益を背景に好調を維持しております。一方で、原材料費の上昇による物価高騰の傾向は長期化しており、経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社がサービスを提供するソフトウェアプロダクツの市場においては旺盛な需要が継続しており、前年同月比で7.2%の増加を示しております（経済産業省2023年7月10日特定サービス産業動態統計調査（2023年5月分速報））。また、首都圏におけるオフィスの空室率の上昇基調が続く中では、引き続きリモートワークを継続する企業も多いと見られ、生産性の維持向上に向けたマネジメントとIT分野でのセキュリティリスク対策の重要性が高まっております。

このような状況のもと、当社は、2022年3月期に掲げた「顧客ターゲット別の営業推進」「ソリューション強化」「新人事制度定着による生産性向上」を継続し、事業に取り組んでおります。

営業面においては、4月に営業部門のマネジメントを統一して活動の強化を図るため営業統括本部を新設したことにより、配下の営業3部門全てで前年同期比でのライセンス売上が増加いたしました。また、6月には株式会社ナノオプト・メディア主催の「Interop Tokyo 2023」や日本カード情報セキュリティ協議会（JCISC）主催の「PCI DSSセキュリティフォーラム 2023」などイベントやセミナーのマーケティング活動に注力し、当社ソリューションの認知度向上及び有効性についての訴求を行ってまいりました。

製品開発面では、すべてが新しくなった最新バージョン「ESS REC 6」を4月にリリースいたしました。アーキテクチャを刷新し、システム操作者の常時認証と操作環境の監視・記録を行うことで多様な働き方にも対応し、安全なシステム運用業務を実現いたします。また、特権ID管理製品「ESS AdminONE」については、複数の外部モジュールオプションを新たにリリースし、管理対象システムの拡充を行いました。

当社の当第1四半期累計期間における経営成績は次のとおりであります。

当第1四半期累計期間におけるライセンス売上は、営業体制強化の成果及び特権ID管理製品の伸長により前年同期比で12.9%の増加となりました。ライセンス売上に派生するコンサルティングサービス売上も、前年同期比で38.7%の増加となりました。また、ストックビジネスである保守サポートサービス売上等も引き続き順調に増加しております。

これにより、売上高は549,709千円（前年同期比6.9%増）となりました。

一方、売上原価並びに販売費及び一般管理費においては、賃上げによる労務費・人件費が前年同期比38,681千円増加した他、前事業年度まで行ってきた「ESS AdminONE」の機能拡張への投資に係る減価償却費や、「ESS REC6」の拡販に向けた広告宣伝費の増加等もあり、営業利益は15,385千円（同53.9%減）、経常利益は15,204千円（同53.3%減）、四半期純利益は9,650千円（同55.6%減）となりました。

当第1四半期における製品・サービス区分別販売実績

（単位：千円）

製品・サービスの名称	パッケージソフトウェア事業※1		
	前第1四半期累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	増減率 （%）
うちESS REC (REC)	77,218	55,837	△27.7
うちその他ライセンス	50,810	88,761	74.7
ライセンス	128,028	144,598	12.9
保守サポートサービス	318,065	329,158	3.5
クラウドサービス	21,849	23,069	5.6
コンサルティングサービス	33,878	47,002	38.7
SIO常駐サービス	5,400	6,085	12.7
その他※2	6,855	△205	△103.0
合計	514,078	549,709	6.9

※1 当社はパッケージソフトウェア事業の単一セグメントであります。

※2 その他の主なものはレンタル売上、SEER INNERのタームライセンス及び保守、販売奨励金等であります。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ263,521千円増加し、4,471,577千円（前事業年度末比6.3%増）となりました。主な増加要因は、保守サポートサービス売上に係る前受金（契約負債）の増加等による現金及び預金の増加299,420千円、主な減少要因は売掛金及び契約資産の減少44,315千円によるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ379,729千円増加し、1,245,866千円（前事業年度末比43.8%増）となりました。主な増加要因は、保守サポートサービス売上に係る前受金（契約負債）の増加333,517千円、賞与支給に係る社会保険料等の預り金の増加32,877千円、主な減少要因は、未払法人税等の減少15,147千円によるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ116,208千円減少し、3,225,711千円（前事業年度末比3.5%減）となりました。主な減少要因は、剰余金の配当による減少134,295千円、主な増加要因は、四半期純利益9,650千円の計上、その他有価証券の評価差額金の増加8,436千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の第1四半期累計期間は、計画どおり進捗しており、今後の業績につきましては、引き続き国内外の景気動向にリスクが存在しておりますが、2023年5月11日に公表した業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,392,785	3,692,205
売掛金及び契約資産	202,509	158,194
前払費用	54,467	43,853
その他	367	1,755
流動資産合計	3,650,130	3,896,009
固定資産		
有形固定資産	31,966	35,688
無形固定資産	251,444	260,104
投資その他の資産	274,514	279,775
固定資産合計	557,925	575,568
資産合計	4,208,056	4,471,577
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,003	47,967
未払金	50,107	59,707
未払法人税等	22,733	7,586
契約負債	619,810	953,327
賞与引当金	66,846	63,408
預り金	7,455	40,333
その他	14,893	40,791
流動負債合計	832,851	1,213,121
固定負債		
退職給付引当金	1,170	630
従業員株式給付引当金	2,400	2,400
資産除去債務	29,715	29,714
固定負債合計	33,285	32,744
負債合計	866,136	1,245,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,386	507,386
資本剰余金	489,386	489,386
利益剰余金	2,556,180	2,431,534
自己株式	△217,979	△217,979
株主資本合計	3,334,972	3,210,327
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,946	15,383
評価・換算差額等合計	6,946	15,383
純資産合計	3,341,919	3,225,711
負債純資産合計	4,208,056	4,471,577

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	514,078	549,709
売上原価	193,108	275,136
売上総利益	320,970	274,572
販売費及び一般管理費	287,584	259,186
営業利益	33,385	15,385
営業外収益		
受取利息	5	5
還付加算金	-	13
営業外収益合計	5	19
営業外費用		
障害者雇用納付金	850	200
雑損失	0	0
営業外費用合計	850	200
経常利益	32,541	15,204
税引前四半期純利益	32,541	15,204
法人税、住民税及び事業税	133	2,515
法人税等調整額	10,696	3,038
法人税等合計	10,829	5,554
四半期純利益	21,711	9,650

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、「パッケージソフトウェア事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。